

スノーボーダー

國武大晃さん
(20歳、森岡)



プロフィール

平昌五輪、北京冬季五輪のスノーボード男子スノーボード ビッグエアとスロープスタイルに出場。北京冬季五輪のビッグエアでは4位入賞を果たした。東浦町出身で、阿久比町に在住。



「好きこそ物の上手なれ」。それを体現しているのが國武さんだと思える。1歳になる頃には、冬場は毎週家族でスキー場に行くのが日常だったそうだ。「スノーボードは物心ついたときからやっていて、好きという気持ちで続けてきた。気づいたときには大会に出るようになっていました」と話す。北京冬季五輪(以下、北京五輪)では4位。しかし、4位に至るまで予選敗退の連続だった。平昌五輪では出場種目すべて、北京五輪でもスロープスタイルは予選敗退。自分はダメなんじゃないか、周りか

ら見放されてしまうのではないかという不安と闘っていたという。スロープスタイルの予選敗退後、ビッグエアに挑むまでに気持ちを切り替えた。「気持ちの切り替えには時間がかかりました。ビッグエアも予選敗退だったから、次はないと思っていたので、どうしても決勝に行きたかった。夜に1人で考え込んだり、日本人選手と話したりすることで、次第に気持ちも立ち直っていききました。ビッグエアでの予選突破は、運も味方してくれたと思っています」。

試合後のインタビューで「表彰台と4位は天と地の差」と悔しさを語った北京五輪。この悔しさをバネに、

イタリアで開催される次の冬季五輪を目指す。「オリンピックは出場権を得るまでが一番大変。目の前の課題を着実にクリアしていくことが、出場への近道だと思っています」。

スノーボードの魅力を聞くと「人によって滑り方のスタイルが異なるところです。例えば、洋服でいうと、カジュアル、ストリートなどの系統がスノーボードの滑りにもあります。各選手にこだわりがあり、ほかの選手とは違った滑り方で自己表現していますよ」。

最後に目標を聞いた。「スノーボーダーとして成功することが自分の夢。年齢を重ねてもスノーボードの魅力を伝えていきたいです」。

